

笹田トヨ子議員の一般質問 介護・教育問題について取り上げる

大垣市議会12月議会一般質問は12月5日(月)6日(火・予定)で行われます。一般質問には14名の議員が予定しています。笹田トヨ子議員は2番目10時30分ころの予定です。是非傍聴ください。
 笹田トヨ子議員は、1. 介護保険に関して 2. 教育予算の使い方について 3. 少人数教育の推進についての3項目を予定しています。その質問趣旨をお知らせします。

介護保険大垣市独自の軽減策を！ 地域包括支援センターの体制は…

1. 最近建設されている介護施設はユニット型が多く、入居費などが高額なため入所できない人が出ています。現在、多床室のベッド数はどれだけその待機者はどれだけか、多床室しか入れない方はどう対応すればよいか質問します。
2. 老健施設や療養型介護施設の入居者の場合、補足給付の対象にならない課税世帯も多く、その費用負担は計り知れないものがあります。早急に実態調査を行い、負担軽減策を求めます。
3. ショートステイの利用者の多くは補足給付の対象にならないため家族の費用負担は大きく、利用者本人の収入に応じて負担する軽減措置が必要ではないか質問します。
4. 多くの自治体では、独自の軽減制度を設けていますが、大垣市も検討してはどうか。
5. 大垣市の地域包括支援センターについて、設置者、設置箇所数、人員体制の基準について質問します。
6. 第3期事業計画の策定にあたり、介護費用の国の

負担割合を引き上げるよう国に対して要求することを求めます。第3期事業計画の介護費用や1号被保険者の介護保険料はどれだけになるか、その見通しについて質問します。

大垣市の教育予算の使い方は

大垣市の教育は、何に重点をおいているか、教育予算からみてみました。

トップはIT教育です。ここ数年、IT化に年間1億数千万円の予算がつけられ、教育分野でのIT化は全国のトップクラスになっています。そこで、IT教育の実際と費用対効果について質問します。

また、深刻な不登校問題についても「ほほえみ相談員の配置」等、いくつかの不登校対策事業が行われていますが、その結果と評価は・・・、年々増えてはいるものの2千万円レベルの予算しかない「水都っ子プラン」に対する取り組みとその評価などについて質問します。

「少人数学級」で教え・学ぶ喜びを

1. 文部科学省は「少人数学級」に対し積極姿勢を示していますが、予算的保障は何もありません。ただ18年度より学級編成権を都道府県から市町村に移すことを明らかにし、校長の裁量で少人数学級を編成することができるということです。大垣市の場合どうなるか質問します。
2. 犬山市では、フリーの常勤教師(教務主任や校務主任など)を学級担任に配置し、35人以下の少人数学級を実施しています。大垣市においても可能ではないか質問します。
3. 「水都っ子プラン」の非常勤教師の時間延長や人数増のために予算増を、またその活用は学校の裁量で行う事を求めます。
4. 教師の受け持ち分掌を極力減らして、授業に専念できるように求めます。



笹田トヨ子議員一般質問
傍聴のお願い
12月5日(月)
10時30分頃

ご意見・ご質問等はこちらへ TEL 81-1383
<http://www.sasada-toyoko.jp/> e-mail: sanbal@sasada-toyoko.jp